

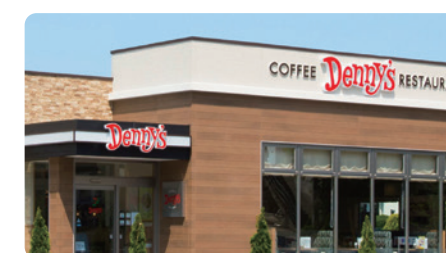


<http://www.7andi.com>



会社案内 2018-2019

CORPORATE PROFILE



ごあいさつ

セブン&アイHLDGS.は、コンビニエンスストア、スーパーストア、百貨店、専門店、さらに金融サービスまで世界にも類のないサービス業態を展開し、グローバルで6万7千店舗を超える店舗ネットワークに、日々約6,400万人のお客様をお迎えしています。この多岐に亘る業容が生み出すグループシナジーを活かして、お客様の日常生活を支える社会インフラとして、また流通サービスの発展に寄与するイノベーターとしての役割を果たしています。

現在、国内においてはデジタル技術の驚異的な進展と情報通信システムの社会基盤の充実を背景に、流通サービスのあり方も大きく変化しています。その中で、私たちはこれまで培ってきた店舗網や情報システム、物流などの事業インフラと、お客様のライフステージに寄り添った商品やサービスの提案力、人材育成を通じた接客サービスの向上にいつそう磨きをかけてまいります。そして、外部のさまざまな専門家や企業の皆様との連携も積極的に進め、お客様お一人おひとりとの接点をこれまで以上に豊かにし、新たなマーケットの創造を図ってまいります。

また、働く女性の増加や少子高齢化等を背景とする社会ニーズの変化や、地球規模の環境問題等、さまざまな課題にも直面しているなかで、私たちは経営資源を基盤にE(環境)、S(社会)、G(ガバナンス)の視点を経営と事業活動に組み入れ、社会的な課題の解決に取り組んでまいります。さらに国連が掲げる「持続可能な開発目標(SDGs)」の実現に向けて、社会の持続的な成長を可能にする事業モデルや店舗スタイル等の創出にも力を注いでまいります。

私たちは、「信頼と誠実」の社是のもとに、お客様をはじめすべてのステークホルダーの皆様と誠実に向き合い、信頼関係をよりいっそう深めながら、大きな社会変化に対応する新しい価値創造に向けて、グループ一丸となって取り組んでまいります。

株式会社 セブン&アイ・ホールディングス
代表取締役社長
井阪 隆一



グループ社是

私たちは、お客様に信頼される、誠実な企業でありたい。
私たちは、取引先、株主、地域社会に信頼される、誠実な企業でありたい。
私たちは、社員に信頼される、誠実な企業でありたい。

数字で見る「セブン&アイグループ」

社会環境の変化にともない小売業が果たすべき役割は多様化しています。

セブン&アイグループの持つ機能を活かしながら、本業を通じた社会価値と企業価値の創造を追求します。

グループ売上

1兆482億円

セブン・イレブン・ジャパンおよび7-Eleven, Inc.における加盟店売上を含めた数値(2018年2月期)

グローバルネットワーク(18の国と地域)

約67,600店舗

2018年5月末現在(海外は2018年3月末現在)

連結従業員数

149,414名

2018年2月末現在
パートタイマー(月間163時間換算の月平均人員)を含む

連結営業利益

3,916億円

2018年2月期

セブンプレミアム(年間売上げ)

1兆3,200億円

2018年2月期

セブンプレミアム(総アイテム数)

3,900アイテム

2018年2月期

女性管理職比率(課長級)

23.1%

セブン&アイHLDGS.
セブン・イレブン・ジャパン
イトーヨーカ堂
ヨークベニマル
そごう・西武
赤ちゃん本舗
セブン&アイ・フードシステムズ
セブン銀行
8社合計
(2018年2月末現在)

障がい者雇用率

2.66%

セブン&アイHLDGS.、テルベ、セブン・イレブン・ジャパン、イトーヨーカ堂、セブン&アイ・フードシステムズの5社によるグループ適用雇用率(2018年6月現在)

自治体との包括連携協定数

160団体

2018年5月末現在

ペットボトル回収本数

約2億3,700万本相当

セブン・イレブン、イトーヨーカドー、ヨークベニマル、ヨークマートの4社で701台のペットボトル自動回収機を設置(2018年2月期)

世界18の国と地域に67,000店舗以上を 展開。 世界規模のブランドへと成長を遂げています。

日本をはじめ、世界18の国と地域へコンビニエンスストアやスーパーストア、百貨店、専門店などを展開。世界規模のネットワークを活かしてお客様に新しい価値の提案と質の高いサービスをお届けしています。



グループ全店舗数

約 **67,600** 店舗

総来客数

約 **6,400** 万人／日

約 **520** 店舗

ノルウェー (セブン-イレブン)
スウェーデン (セブン-イレブン)
デンマーク (セブン-イレブン)

ヨーロッパ

約 **32,650** 店舗

中国 (セブン-イレブン／成都イトーヨーカ堂／
華糖ヨーカ堂／そごう)
韓国 (セブン-イレブン)
台湾 (セブン-イレブン／そごう)
マレーシア (セブン-イレブン／そごう)
インドネシア (そごう／西武)
フィリピン (セブン-イレブン)
シンガポール (セブン-イレブン)
タイ (セブン-イレブン)
ベトナム (セブン-イレブン)

アジア

日本

約 **11,900** 店舗

アメリカ (セブン-イレブン)
メキシコ (セブン-イレブン)
カナダ (セブン-イレブン)

北米

UAE

13 店舗

アラブ首長国連邦 (セブン-イレブン)

オーストラリア

約 **680** 店舗

オーストラリア (セブン-イレブン)

日本国内店舗数

約 **21,850** 店舗

セブン-イレブン／イトーヨーカドー／ヨークベニマル／
そごう／西武／デニーズ／ロフトなど

総来客数

約 **2,300** 万人／日

店舗数は2018年5月末現在(海外は2018年3月末現在)
総来客数は2018年2月期のもの

グループの歩みは、挑戦とイノベーションの歴史です。

私たちグループは、日本の流通に変革をもたらす取り組みに挑戦し続けてきました。日本流コンビニエンスストアの導入、共同配送の仕組み、公共料金の収納代行、情報システム、決済専門のセブン銀行など、世界初、日本初、業界初の取り組みは100件以上になります。そのDNAは、セブン&アイグループにも引き継がれています。

2005



セブン&アイHLDGS. 設立

2005年9月、グループ各社のインフラやノウハウを共有して、シナジーを生み出すことを目的に持株会社を設立。



7-Eleven, Inc.を完全子会社化

2005年の完全子会社化以降、日本で培った経験を活かして、単品管理の精度を上げる「オペレーション」をはじめ、「商品開発」「店舗開発」を導入。積極的なM&Aを含め、成長性の高い地域への出店を進めています。

2012



セブンらくらくお届け便スタート

超小型電気自動車「コムス」を活用したサービスとして、セブン・イレブンのほぼすべての商品をご自宅や事業所などへお届け開始。

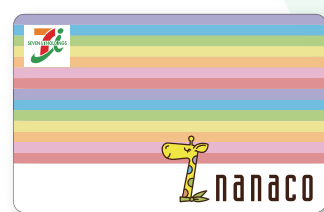
2013



「セブンカフェ」スタート

1杯ずつ挽きたて、淹れたての本格的なコーヒーを提供する「セブンカフェ」がスタート。コンビニエンスストアに、新たなスタイルと市場を生み出しました。

2007



電子マネー「nanaco」誕生

2007年4月、約1,500店舗のセブン・イレブンからスタート。カードのデザインはお客様とお店を繋ぐ虹の架け橋です。



「セブンプレミアム」誕生

2007年5月に発売した「セブンプレミアム」の第1弾は49アイテム。従来のプライベートブランドとはまったく異なる発想のモノづくりで、新しい価値を創造しました。

2015



「オムニ7」グランドオープン

2015年11月、多彩な業態のリアルとネットを融合した、オムニチャネル「オムニ7」がグランドオープン。いつでも、どこでも、お買物を楽しめる、従来のネット通販の枠を超えた新しいお買物のカタチです。

2018



「セブンマイルプログラム」スタート

2018年6月、グループ共通のマイルが貯まる「セブンマイルプログラム」がスタート。お客様に新しいお買物の体験をお届けします。

セブン銀行ATMの拡大

セブン銀行は、「いつでも、どこでも、だれでも、安心して」使えるATMサービスを提供。現在では国内設置台数が24,000台を超え、1日約220万人のお客様にご利用いただいています。



2005年	9月	(株)セブン&アイ HLDGS. 設立
	11月	(株)セブン・イレブン・ジャパン、7-Eleven, Inc. を完全子会社化
	12月	(株)ミレニアムリテイリング(現 そごう・西武)と事業提携
2006年	6月	(株)ミレニアムリテイリングを完全子会社化
	9月	(株)ヨークベニマルを完全子会社化
2007年	1月	(株)セブン&アイ・フードシステムズ設立
	3月	世界のセブン・イレブンが小売業として世界最大チェーン店舗数を達成
	4月	流通系初の電子マネー「nanaco」誕生
	5月	グループ共通のプライベートブランド「セブンプレミアム」誕生
	7月	(株)赤ちゃん本舗を子会社化
	12月	(株)日テレ7 設立
2008年	7月	(株)セブン&アイ・ネットメディア設立
	8月	(株)アインファーマシーズと業務・資本提携 (株)セブンファーム富里設立
2009年	1月	(株)セブンカルチャーネットワーク設立
	6月	(株)セブンヘルスケア設立
	8月	(株)そごう・西武設立
	12月	ぴあ(株)と業務・資本提携 グループの総合通販サイト「セブンネットショッピング」スタート
2010年	2月	セブン・イレブンで「住民票の写し」「印鑑証明」発行の行政サービス開始
	3月	タワーレコード(株)へ資本参加
	7月	農業事業の統括会社(株)セブンファーム設立
	9月	「セブンプレミアムゴールド」を販売開始
	12月	セブン・イレブン成都有限公司設立
2011年	3月	(株)セブン・フィナンシャルサービス設立
	5月	セブン・イレブン「セブンあんしんお届け便」スタート
2012年	1月	セブン・イレブンのチェーン全店売上が、国内小売業の単一チェーンとして初の3兆円突破
	7月	セブン・イレブン、超小型電気自動車「コムス」を活用した「セブンらくらくお届け便」スタート
	12月	無料 Wi-Fi サービス「セブンスポット」グランドオープン
2013年	1月	「SEVEN CAFÉ(セブンカフェ)」の販売スタート
	7月	(株)ダイイチと業務・資本提携
	12月	(株)ニッセンホールディングスと業務・資本提携 (株)天満屋ストアと資本提携、(株)天満屋と業務提携 (株)パルスと業務・資本提携
2014年	2月	営業利益が国内小売業初の3,000億円突破
	3月	電子マネー「nanaco」の月間利用件数が1億件突破
		セブン・イレブン、JR 西日本グループと駅店舗事業で業務提携
	5月	国内小売業初、大規模災害に備えた「燃料備蓄基地」を設置
	7月	セブン銀行 ATM 設置台数が20,000台突破
	12月	コンビニエンスストア業界初の免税サービス開始
2015年	2月	(株)バーニーズ ジャパンを完全子会社化
	3月	関西地域の食品スーパー(株)万代と業務提携
	11月	「オムニ7」グランドオープン
2016年	8月	(株)ニッセンホールディングスを完全子会社化
2017年	7月	アスフル(株)と業務提携
2018年	4月	(株)イズミと業務提携
	6月	「セブンマイルプログラム」スタート
		セブン&アイ・データラボ発足
		(株)セブン・ペイ設立
	7月	小田急電鉄(株)、小田急商事(株)と業務提携 (株)増進会ホールディングスと業務提携

国内コンビニエンスストア事業

つねに時代の一步先を行く
コンビニエンスストアとして進化。

(株)セブン・イレブン・ジャパン [20,385店舗]	セブン・イレブン(中国)投資有限公司 セブン・イレブン北京有限公司 [244店舗]
(株)セブン・イレブン・沖縄	セブン・イレブン成都有限公司 [82店舗]
(株)セブン・ミールサービス	セブン・イレブン天津商業有限公司 [122店舗]
(株)セブンネットショッピング	
(株)セブンドリーム・ドットコム	
SEVEN-ELEVEN HAWAII, INC. [65店舗]	

海外コンビニエンスストア事業

お客様ニーズに対応した利便性を追求。
グローバル展開も拡大。

7-Eleven, Inc. [9,696店舗]

百貨店事業

百貨店ならではのサービスで、
ほかにはない新しさとワクワク感を提供。

(株)そごう・西武 ●そごう [7店舗] ●西武 [8店舗]	(株)池袋ショッピングパーク (株)ごっつお便
--------------------------------------	----------------------------

金融関連事業

ATMや電子マネー、クレジットカード、保険など、
暮らしに溶け込んだ金融サービスを提供。

(株)セブン銀行 [24,481]※	(株)バンク・ビジネスファクトリー
(株)セブン・フィナンシャルサービス	(株)セブン・ペイメントサービス
(株)セブン・カードサービス	(株)セブン・ペイ
(株)セブンCSカードサービス	FCTI, Inc. ※ATM設置台数

新たな価値 社会の持続的 セブン& 創造を通じて 成長に寄与する アイグループ

セブン&アイグループは、多彩な流
的成長に寄与する流通イノベー
ESG* への視点を取り入れた取り組
活用など社会的課題の解決に寄
りとして魅力的で、社会の成長発
流通サービスの創造を追求
続可能な開発目標」の実現

*環境(Environment)、社会(Social)、

通業態を結集して、社会の持続
ションを推進しています。とりわけ
みを強化し、お買物支援、資源有効
与する取り組みに注力。お客様
展に資する新たな価値を備えた
し、国連が提唱する「SDGs(持
にも貢献してまいります。

ガバナンス(Governance)

スーパーストア事業

商品・サービス、お店づくりを通し、
地域のお客様に寄り添ったコミュニティ拠点へ。

(株)イトーヨーカ堂 (丸大3店舗含む) [167店舗]	(株)ヨーク警備
(株)ヨークベニマル [222店舗]	(株)セブンファーム
(株)ヨークマート [80店舗]	イトーヨーカ堂(中国)投資有限公司 成都イトーヨーカ堂有限公司 [7店舗]
(株)シェルガーデン [24店舗]	華糖ヨーカ堂有限公司 [1店舗]
(株)サンエー [1店舗]	(株)ダイイチ [23店舗]
(株)ライフフーズ	(株)天満屋ストア [47店舗]
アイワイフーズ(株)	

専門店事業

幅広く多彩な専門店事業。それぞれの分野で
信頼されるブランド力を発揮。

(株)赤ちゃん本舗 [112店舗]	(株)ニッセンホールディングス
(株)ロフト [113店舗]	(株)バーニーズ ジャパン [12店舗]
(株)セブン&アイ・フードシステムズ	(株)オッシュマンズ・ジャパン [8店舗]
●レストラン(デニーズ) [375店舗]	(株)Francfranc(フランフラン) [140店舗]
●給食 [207店舗]	タワーレコード(株) [79店舗]
●インスタ・専門店・その他 [162店舗]	

その他の事業

グループ各社と連携し、
価値あるサービスを創出。

(株)セブン&アイ・ネットメディア	(株)ハケ岳高原ロッジ
(株)セブン&アイ出版	(株)テルベ
(株)セブンカルチャーネットワーク	ぴあ(株)
(株)セブン&アイ・クリエイティブ	
(株)セブン&アイ・アセットマネジメント	

[]内の数字は店舗数(国内は2018年5月末現在、
海外は2018年3月末現在)

“持続可能な未来”を拓く、流通イノベーションへの挑戦

より快適で新鮮な ショッピング体験の提供

1日約2,300万人の
お客様をお迎えするな
かで、磨き上げてきた店舗
や売場づくり、接客サービ
ス。有力メーカーとチームを
組んだ独自のマーチャンダイ
ジング戦略で開発したオリジナ
ル商品。これらセブン&アイグ
ループが培ってきたコンテン
ツを、これまで誰も体験した
ことのないフオリティにまで
磨き上げ、お客様に、新し
いお買物体験を提供し
ていきます。



お客様との絆を、さらに強く

グループシナジーを活かした CRM戦略を推進

2018年、セブン&アイグループはグループ各社横断の「セブンマイルプログラム」を始動、これと同時にセブン・イレブン、イトーヨーカドーでは新たなスマホアプリの提供をスタートしました。グループ共通の「7iD（セブンアイディ）」を発行して、お客様お一人おひとりのライフスタイルやお買物傾向に合わせた情報提供等を実現することで、業態の違いを超えた総合的なサービス提供や新たなショッピング体験をお届け。お客様の最も身近な暮らしのパートナーとしての役割を深めていきます。

※CRM:お客様との接点の強化



「オムニ7」なら
いつでもどこでも
注文できます

リサイクルPETや
間伐材などに
配慮した用器を採用

地域のお客様に
寄り添う
総合スーパー

環境配慮店舗
屋根や駐車場に
ソーラーパネルを
設置

近くて便利な
進化する
コンビニエンス
ストア

売場のプロが選んで
商品をお届けする
イトーヨーカドーの
ネットスーパー

リアルとネットを
便利につなぐ
IT／サービス

日々の暮らしに
密着した
お金のサービス

子育て世帯の
強い味方
「セブンなないろ
保育園」

日々の食卓を
豊かに彩る
食品スーパー

新しい価値の創出で、社会的課題の解決へ

外部企業との連携の強化

セブン&アイグループでは事業基盤を活かし、さまざまな外部企業と連携することで、お客様の生活により密着したインフラ機能を拡充。少子高齢化や働く女性の増加などを背景に、お買物に関する社会的な課題の解決にも積極的に取り組んでいます。その一環として、アスクル（株）と連携した生鮮食品を中心としたEコマースサービス「IYフレッシュ」、セイノーホールディングス（株）や（株）エヌ・ティ・ティデータと連携した「セブン・イレブンネットコンビニ」など、新たなサービスへの挑戦もスタートしています。



商品をスマホで簡単に注文でき、最短2時間でお届けするサービスで、セブン・イレブンの店頭在庫を活用。

超小型電気自動車
「コムス」で
宅配サービス

お客様の
お買物支援
「あんしんお届け便」

おいさと
笑顔を提供する
レストラン

さまざまな
ライフスタイルに
こだわりで応える
専門店

魅力ある
お店づくりを
サポートする
不動産／警備

作り手の
「顔が見える」
製造・加工

社会やお客様からのニーズに応え、 さまざまな価値あるお店づくりを展開。

コンビニエンスストア



セブン-イレブン

CSR報告書



つねに時代の一步先を行くコンビニエンスストア

セブン-イレブンは、商品・サービス、売場づくり、店舗展開等のすべてを通じて質を追求し、つねに流通サービスをリードするイノベーションを推進。2018年には2万店舗を突破し、お客様の利便性を高める新アプリの導入などリアル店舗の集客力に寄与するデジタル戦略も始

動。また、「自転車シェアリング」「ペットボトル回収機」など、地域や社会の課題解決に貢献する新たなサービスも着実に広げながら、もっと「近くて便利」の実現に取り組み、お客様の暮らしを支える生活インフラとしての役割を高めています。



株式会社セブン-イレブン・ジャパン

代表取締役社長：古屋 一樹
チェーン全店売上：4兆6,780億円(2018年2月期)
設立：1973年
資本金：172億円(2018年2月末)
店舗数：20,260店舗(2018年2月末)
社員数：8,886名(2018年2月末)

コンビニエンスストア(海外)



7-Eleven, Inc.

新しい地域にも出店し、世界規模で「セブン-イレブン」ブランドを強化

セブン-イレブンは、世界のブランドとして17の国と地域に展開し、拡大し続けています。世界のセブン-イレブンのライセンスであり北米地域で店舗展開している7-Eleven, Inc. は、消費市場の変化に対応した成長戦略を推進。食品・飲料の拡充、プライベートブランドの

拡大、デジタル戦略等を推進するとともに、地域ニーズへの対応も強化。さらに新規出店とM&Aを効果的に組み合わせ、成長性の高い地域で積極的な出店を進め、チェーン全体の成長力をよりいっそう強化しています。



7-Eleven, Inc.

代表取締役社長：Joseph M. DePinto
(ジョセフ・マイケル・デピント)
チェーン全店売上：3兆1,344億円(2017年12月期)
設立：1927年
資本金：13千ドル(2017年12月末)
店舗数：8,670店舗(2017年12月末)
社員数：17,877名(2018年2月末)

総合スーパー



イトーヨーカドー

CSR報告書



豊かな“旬の暮らし”を発信する地域の生活拠点

ライブ感あふれるデリカコーナーやイートインコーナーの拡充をはじめ、食品フロアの抜本的なレイアウト変更を進めるなど、お客様や地域社会のニーズに積極的にお応えする売場改革を推進。さらに地域性や季節変化に密着した品揃え、売場づくりを進めるとともに、自営売

場とテナントの連携を強化するなど、個店ごとに魅力ある店づくりを追求。商品・サービス、接客、店舗施設など「館」全体で“旬”の暮らしを発信し、地域のお客様同士の交流にも貢献する「地域の生活拠点」を目指しています。



株式会社イトーヨーカ堂

代表取締役社長：三枝 富博
営業収益：1兆2,442億円(2018年2月期)
創業：1920年
資本金：400億円(2018年2月末)
店舗数：164店舗(2018年2月末)
従業員数：35,413名(2018年2月末)

セブン&アイHLDGS.が展開する事業会社は、実に幅広く、多彩。

変化し続ける社会環境や地域において、お客様の信頼と期待にお応えするべく、各事業会社が独自の魅力を高め続けることで価値あるサービスの提供を日々追求しています。

食品スーパー



ヨークベニマル

CSR報告書



お客様に感動をお届けする商品・サービス、店づくり

「小商圏から繰り返し来店くださるお客様の日常の食卓を、より楽しく豊かに、便利にする」をコンセプトに、南東北、北関東を中心に店舗展開。感動のある売場、温かく親身な接客サービス、地域ニーズに密着

した品揃え等を通じて、地域のお客様から大きなご支持をいただいています。さらに、新たな店舗フォーマットの創造などに努め、「いま」のニーズに積極的にお応えしています。



株式会社ヨークベニマル

代表取締役会長：大高 善興
代表取締役社長：真船 幸夫
営業収益：4,371億円(2018年2月期)
設立：1947年
資本金：99億2千7百万円(2018年2月末)
店舗数：220店舗(2018年2月末)
従業員数：14,600名(2018年2月末)



ヨークマート

地域の生活に寄り添った売場づくり

「地域のお客様の食生活を、より楽しく、豊かに、便利に」を企業理念として、首都圏を中心に食品スーパーを展開。「個店経営」により、地域のお客様ニーズに密着した店づくりを進めています。

株式会社ヨークマート

代表取締役社長：大竹 正人
営業収益：1,448億円(2018年2月期)
資本金：10億円(2018年2月末)
店舗数：78店舗(2018年2月末)



ザ・ガーデン自由が丘

高質食品スーパーを首都圏で展開



そごう・西武の食品フロアや首都圏の駅ビルなどを中心に店舗展開。地域ニーズにお応えする品揃えと日常の食卓に豊かさを提供するこだわりの商品提案に力を注いでいます。

株式会社ザ・ガーデン

代表取締役社長：稲富 仁
営業収益：275億円(2018年2月期)
資本金：1億円(2018年2月末)
店舗数：24店舗(2018年2月末)

百貨店



そごう・西武

CSR報告書



新しい発見と他にはないサービスの提供で、 お客様のニーズに応える百貨店へ

そごう・西武はお客様の暮らしに寄り添い、地域に根ざした百貨店を目指しています。近年はそごう横浜店など首都圏の店舗を中心にテーマ性のある売場づくりを強化、お客様に新鮮な発見をご提供するとともに、多様なライフスタイルやライフステージに対応しています。また、「キレステ

ーション」や「プレマステーション」など、百貨店ならではの高度な専門知識で、お客様へのご提案とサービスの提供にも力を注いでいます。さらに、海外ライセンス(商標貸与)として香港、台湾、マレーシア、インドネシアで31店舗を展開し、いずれも高級百貨店として人気を集めています。



株式会社そごう・西武

代表取締役社長：林 拓二
営業収益：6,858億円(2018年2月期)
創業：1830年
資本金：200億円(2018年2月末)
店舗数：15店舗(2018年2月末)
従業員数：7,432名(2018年2月末)

専門店



マタニティ・ベビー・キッズ用品専門店
アカチャンホンポ

CSR報告書



「子育て総合支援企業」を目指して

会員数は200万人以上。「スマイルな育児を。アカチャンホンポ」のメッセージのもと、楽しさ、感動を提供します。子育て世代において、90%以上のお母さんに認知度があり、赤ちゃんの安全・安心を考えたオリジナル商品の開発はもちろん、子育てを

支援する活動として出産や子育てに関したイベントやサービスにも注力。また、アプリで育児情報を提供するなどお客様一人ひとりの幸せな出産・子育てをサポートする「子育て総合支援企業」を目指しています。



株式会社赤ちゃん本舗

代表取締役社長：佐藤 好潔
営業収益：1,046億円(2018年2月期)
設立：1932年
資本金：37億8千万円(2018年2月末)
店舗数：110店舗(2018年2月末)
従業員数：2,804名※(2018年2月末)



生活雑貨専門店
ロフト

日常にプラスワンの豊かさと楽しさを提供

美容・健康雑貨、文具、バラエティ、キャラクターから生活雑貨、アート雑貨まで、デザイン性と機能性を備えた商品を幅広く取り揃えています。お客様の声を活かしたオリジナル商品の開発や、新しいモノやコトを生み出す売場づくりも推進しています。

お買物を楽しくする「ロフトアプリ」は、スマートフォンを活用したお客様とのコミュニケーションツール。雑貨の「いま」がわかる情報発信やSNSとの連動、スタンプを貯めてクーポン進呈など、おトクなサービスでも注目を集めています。



株式会社ロフト

代表取締役社長：安藤 公基
営業収益：1,036億円(2018年2月期)
設立：1996年
資本金：7億5千万円(2018年2月末)
店舗数：110店舗(2018年2月末)
従業員数：4,416名※(2018年2月末)



レストラン・ファストフード・給食

セブン&アイ・フードシステムズ

価値ある料理とサービスを通して、お客様に豊かな明日を提供します

デニーズをはじめとするファミリーレストランと、カフェの白やギ咖啡店、ファストフードのポッポ等を運営、社員食堂など給食の提供も行っています。さまざまな業態を手がけ、お客様へおいしい料理と最高のサービスで、「おもてなし」することを目指

しています。新鮮で安全な食材を使ったメニューを提供、安心してお召し上がりいただくことはもちろん、食事の楽しさや豊かさを提供できるように、これからも挑戦し続けます。

CSR報告書



株式会社セブン&アイ・フードシステムズ

代表取締役社長：小松 雅美
営業収益：803億円(2018年2月期)
設立：2007年
資本金：30億円(2018年2月末)
店舗数：749店舗(2018年2月末)
従業員数：9,487名※(2018年2月末)



ファッション通販

ニッセンホールディングス

あなたのもとへ“ちょっといいな”をお届けします



衣料品、インナー、インテリア雑貨、美容グッズなど幅広い品揃えで展開。

株式会社ニッセンホールディングス

代表取締役社長：脇田 珠樹
設立：1970年
資本金：118億7千3百万円(2018年2月末)



婦人服・紳士服・洋品雑貨専門店

バーニーズ ジャパン

高いブランド力と情報発信力のスペシャリティストア



バーニーズ ニューヨーク六本木店

上質で洗練されたファッションとラグジュアリーなスタイルを提案しています。

株式会社バーニーズ ジャパン

代表取締役社長：高橋 幸智
設立：1989年
資本金：49億9千万円(2018年2月末)
店舗数：12店舗(2018年2月末)



スポーツショップ

オッシュマンズ

より多くの人にスポーツのある暮らしを



スポーツを通して人生を楽しむためのライフスタイルを提案するセレクトショップ。

株式会社オッシュマンズ・ジャパン

代表取締役社長：松本 敦司
設立：1984年
資本金：25億円(2018年2月末)
店舗数：8店舗(2018年2月末)



ミュージックショップ

タワーレコード

音楽好きによる音楽好きのためのショップ



音楽・映像ソフトの販売に加え、レーベル事業やライブ事業、カフェなどを展開。

タワーレコード株式会社

代表取締役社長：嶺脇 育夫
設立：1981年
資本金：1億円(2018年2月末)
店舗数：79店舗(2018年2月末)



雑誌・書籍

セブン&アイ出版

健康や暮らしを豊かにする情報を提供



書籍や生活関連のムック・雑誌を中心に年間40種出版。WEB制作・配信を展開。

株式会社セブン&アイ出版

代表取締役社長：金竹 正江
設立：1995年
資本金：2億4千2百万円(2018年2月末)



インテリア・雑貨専門店

フランフラン

日常に驚きや感動を



デザインされた商品と自由なスタイリングで、多彩な空間づくりを叶えるインテリアショップ。

株式会社Francfranc

代表取締役：高島 郁夫
社長執行役員
設立：1990年
資本金：1億円
店舗数：134店舗(2018年2月末)



WEB・IT システム

セブン&アイ・ネットメディア

セブン&アイグループのデジタル戦略を支援



グループ各社のサービス向上に向けたアプリ開発など、グループのデジタル戦略を支援するシステム開発・運用を推進。

株式会社セブン&アイ・ネットメディア

代表取締役社長：田口 広人
設立：2008年
資本金：76億6千5百万円(2018年2月末)



文化スポーツ事業・旅行事業

セブンカルチャーネットワーク

学び(カルチャー)と体験(トラベル)をキーワードに



心の豊かさを実感していただける「いまお客様が求めるサービス」「いままでにないサービス」の創造に挑戦。

株式会社セブンカルチャーネットワーク

代表取締役社長：萩原 秀之
設立：2009年
資本金：16億5千万円(2018年2月末)



デベロッパー事業

セブン&アイ・クリエイトリック

グループの総合デベロッパー会社



グループ力を活用し、地域に調和し愛される質の高い商業施設の開発・運営を担当。

株式会社セブン&アイ・クリエイトリック

代表取締役社長：近藤 悦啓
設立：2005年
資本金：6億2千2百万円(2018年2月末)



特例子会社

テルベ

障がい者・高齢者の雇用拡大のために創設



北海道北見市富里にある特例子会社。誰もがのびのびと働ける会社を目指しています。

株式会社テルベ

代表取締役社長：藤本 圭子
設立：1994年
資本金：4億円(2018年2月末)

金融サービス



全国のATMネットワークをベースとする便利さの追求

全国に24,000台以上あるセブン銀行のATMでは、600社の提携金融機関などのカードで入出金ができます。また、海外で発行されたキャッシュカードやクレジットカードでも日本円を引き出すことができます。ATMは、グループ各店のほか、商

業施設、駅、空港などに設置。1日に約220万人以上のお客様にご利用いただいています。また対応するスマートフォンアプリでATMに表示されるQRコードを読み込むことで入出金取引ができる「スマートフォンATM取引サービス」も提供しています。



株式会社セブン銀行

代表取締役会長：二子石 謙輔
代表取締役社長：舟竹 泰昭
経 常 収 益：1,166億円(2018年3月期)
設 立：2001年
資 本 金：305億7千2百万円(2018年3月末)
ATM設置台数：24,392台(2018年3月末)
社 員 数：468名(2018年3月末)



セブン・フィナンシャルサービス

「日々の暮らし」に密着した便利な金融サービスを提供

セブン&アイグループの金融事業会社として「日々の暮らし」に密着した金融サービスを提供しています。新たな商品やサービスの開発・提供を通じ、「新しい価値」のお届けを目指します。電子マネー「nanaco」、クレジットカード「セブンカード／セブンカード・プラス」「クラブ・オン

／ミレニアムカード セゾン」に加え、「セブン保険ショップ」を通じた保険サービス等、グループ各店舗にご来店のお客様を中心に幅広く金融サービスをご利用いただいています。また、グループ各社とのリース取り組みを通じ、流通サービスの向上をサポートしています。



株式会社セブン・フィナンシャルサービス

代表取締役社長：水落 辰也
設 立：1975年
資 本 金：7千5百万円(2018年2月末)
クレジットカード会員数：665万枚(2018年2月末)
電子マネー発行件数：5,983万件(2018年2月末)
社 員 数：273名(2018年2月末)

各地域での提携事業

ダイイチ



北海道で展開するスーパーマーケット

天満屋ストア



岡山・広島・鳥取各県で展開するスーパーマーケット

イズミ



中国・四国・九州地方で展開するショッピングセンターおよびスーパーマーケット

小田急商事



小田急電鉄沿線を中心にスーパーマーケットおよびコンビニエンスストアを運営

コーポレート コミュニケーションツール

■セブン&アイHLDGS.

- ホームページ
<http://www.7andi.com>



- ▶ IR資料室
● 統合レポート
● コーポレートアウトライン



- ▶ コーポレート・ガバナンス
コーポレートガバナンス・レポート



- ▶ CSR
CSRレポート



■セブン・イレブン・ジャパン

- セブン・イレブンの横顔
<http://www.sej.co.jp/company/yokogao.html>



■セブン銀行

- 統合報告書ディスクロージャー誌
<https://www.sevenbank.co.jp/corp/disclosure/>



株式会社セブン&アイ・ホールディングス

設 立 … 2005年9月1日

資 本 金 … 500億円

事業内容 … コンビニエンスストア、総合スーパー、食品スーパー、百貨店、専門店、フードサービス、金融サービス、IT／サービスなど、各事業を中心とした企業グループの企画・管理・運営(純粋持株会社)

連結従業員数 … 149,414名※¹(2018年2月末現在)

本 部 所 在 地 … 東京都千代田区二番町8番地8

2018年2月期 … グループ売上 11兆482億円※²

連結決算業績 営 業 収 益 6兆378億円

営 業 利 益 3,916億円

経 常 利 益 3,907億円

当期純利益 1,811億円

(為替換算レート：U.S.\$1=112.16円)

※¹ パートタイマー(月間163時間換算の月平均人員)を含む

※² 「グループ売上」は、セブン・イレブン・ジャパンおよび7-Eleven, Inc. における加盟店売上を含めた数値

役員一覧 (2018年5月24日現在)

■取締役・監査役

代表取締役社長 井阪 隆一
代表取締役副社長 後藤 克弘
取締役常務執行役員 伊藤 順朗
取締役執行役員 栗飯原 勝胤
取締役執行役員 山口 公義
取締役執行役員 永松 文彦

取 締 役 古屋 一樹
取 締 役 ジョセフ・マイケル・デピント
取 締 役 月尾 嘉男※
取 締 役 伊藤 邦雄※
取 締 役 米村 敏朗※
取 締 役 東 哲郎※

常勤監査役 幅野 則幸
常勤監査役 谷口 義武
監 査 役 ルディー 和子※
監 査 役 原 一浩※
監 査 役 稲益 みつこ※

※印は、社外取締役または社外監査役

■執行役員

常 務 執 行 役 員 三枝 富博
常 務 執 行 役 員 林 拓二
常 務 執 行 役 員 真船 幸夫
執 行 役 員 丸山 好道
執 行 役 員 野口 久隆

執 行 役 員 松本 稔
執 行 役 員 松本 忍
執 行 役 員 木村 成樹
執 行 役 員 石井 信也
執 行 役 員 中村 英和

執 行 役 員 手島 伸知
執 行 役 員 早田 和代
執 行 役 員 清水 健
執 行 役 員 金子 裕司

組織図 (2018年5月24日現在)

